

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for Information
and Systems in Education

ニュース・レター No.194



発行日 2015年1月31日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 前迫 孝憲
〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101
TEL&FAX 06-6324-7767
URL <http://www.jsise.org>
E-MAIL secretariat@jsise.org

2015年度 JSiSE 全国大会(第40回)のご案内

2015年度全国大会の開催日と開催場所が決定しました。

開催日 : 2015年9月1日(火)~3日(木)

開催場所 : 徳島大学 常三島キャンパス

<http://www.tokushima-u.ac.jp/access/>

是非ご参加ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。



2015年度第40回全国大会のご案内	1-3	学会誌執筆要項一部改訂のお知らせ	15
2014年度第6回研究会 プログラム	4-6	Call for Papers : Journal of Information and Systems in Education, Vol. 14	16
2014年度特集論文研究会プログラム	7-9	役員・社員・支部役員選挙のお知らせ	17
2015年度第1回研究会 発表募集	10-11	事務局より	18
2014年度 JSiSE 学生研究発表会	12	新入会員のご紹介	19
2014年度第5回研究会 開催報告	13	会員情報管理システムに関する重要なお知らせ	20
2015年度研究会年間開催予定	13		
学会誌特集号論文募集	14		



2015年度 全国大会 企画セッション テーマ募集のご案内

教育システム情報学会 全国大会委員会
委員長 不破 泰

企画セッションは参加者にとって関心の高く、より詳細な研究テーマに焦点をあてたセッションです。以下のようにテーマを公募いたします。奮ってご応募ください。テーマが採用された方はオーガナイザになっていただき、発表の募集やプログラム作成、セッションの実施を担当していただきます。なお、お申し込みいただいた内容にしたがって全国大会委員会プログラム部会で審査をし、採否を決定させていただきますので、ご了承ください。

企画セッションの講演原稿のフォーマット、投稿方法、セッションのあたりの発表数、講演時間等は一般セッションと同じです。ただし、オーガナイザの裁量で1スロットにつき講演1件分を議論の時間にあてることができます。セッションの時間帯やスロット数は、大会プログラム作成時に大会企画委員会のプログラム委員会にて決定いたします。講演申込みは大会 Web の講演申込みサイトより、一般から公募いたします。また、企画セッションでの発表は表彰の対象となります。

企画セッションのテーマは一般セッションよりも特化したテーマに焦点があてられていることが望まれます。テーマご提案の際には、一般セッション講演募集用のカテゴリ表を参考にしてください。

■オーガナイザの仕事

- 企画セッションのプログラムの作成
- 当日のセッション運営

■以下の項目をご記入の上、全国大会委員会プログラム部会(jsise-taikai-pc2015@jsise.org)宛まで電子メールにてお申し込みください。

- テーマ（企画セッション名）
- 概要（400文字程度）
- テーマが該当するカテゴリ、分野（カテゴリ表より選択、多くて2、3個を目安としてください）
- テーマが該当するキーワード（カテゴリ表中のキーワード）
- テーマ独自のカテゴリ、セッション名、キーワード
- オーガナイザ全員の氏名と所属、代表者の連絡先（電子メールアドレスなど）

※オーガナイザは教育システム情報学会会員に限ります。

■申込期限

2015年2月27日(金)

(2015年3月6日(金)までに採録結果を通知いたします)

一般セッション講演募集用のカテゴリ表

議論観点	カテゴリ	分野名	キーワード(これらに限るものではありません)	
支援対象	設計	授業設計・インストラクショナルデザイン	授業研究, 学習理論, 教育方法, カリキュラム・デザイン, 授業評価, 授業実践, シラバス	
		学習環境デザイン	デザイン研究, 学習科学	
	教育・学習手法	遠隔教育	通信教育, 国際交流, 交流学習, 異文化交流	
		ブレンディッド学習	反転授業, e-ラーニング授業利用	
		連携型教育	高大連携, 大学間連携	
		協調学習	コミュニティ支援, コミュニケーション支援, グループ学習, ディスカッション支援	
		アクティブラーニング	作問学習, PBL,	
	評価	学習者特性・行動分析	ポートフォリオ, アフェクティブラーニング, 質的分析	
		学習評価・アセスメント	リフレクション, ルーブリック, テスト理論, 質的評価, 適応型テスト, レスポンス分析, 数理モデル	
	対象別教育	HRD・生涯学習	リカレント教育, 社会人教育, 企業内教育, 異文化理解	
		高等教育	キャリア教育, 質保証, リメディアル, 初年次教育, FD	
		初等中等教育	言語活動, 教科指導, 授業実践, 教師教育	
	領域別教育	プログラミング教育	アルゴリズム理解, ビジュアルプログラミング, プログラミング言語教育, オブジェクト指向教育	
		情報技術教育	ネットワーク教育, データベース教育, 組み込みシステム教育	
		語学教育	日本語学習, 外国語学習, 聴解学習, 発話学習, 作文教育, 読解教育, 語彙・単語学習, 文法教育	
		教科教育	教科情報, その他教科	
		特別支援教育	インクルーシブ教育, LD, ADHD, 発達障害, 院内学級, 身体障害, 知的障害者	
		スキル学習	身体知, 経験知, 学習スキル, メタ認知, 問題解決支援	
		医療・看護・福祉教育	カウンセリング, ボランティア, 介護実習	
		情報リテラシー	プレゼンテーション支援, コンピュータ操作, 情報倫理	
		技術	ICT 活用	マルチメディア活用
	ソーシャルメディア活用			ソーシャルブックマーク, SNS, BLOG, マイクロ BLOG
	デバイス活用			モバイル, タブレット, ユビキタス
プラットフォーム活用	LMS, e ポートフォリオ, CMS, テレビ会議システム			
技術開発・運用	プラットフォーム開発		LMS, プラグイン, CSCL, e ポートフォリオ, e テスティング, CMS, API, データフォーマット, デバイス, テレビ会議システム	
	インフラストラクチャ		認証, ネットワーク構築, センサネットワーク, クラウド, セキュリティ, システム連携, 仮想化	
	オーサリング支援		コンテンツ・オーサリング, カリキュラム・オーサリング, コンテンツ自動生成, SCORM, LOM	
先進的学習支援技術	知的学習支援システム		アフェクティブコンピューティング, エージェント, 機械学習, 情報検索, 適応的支援, ナビゲーション支援, リフレクション支援, 情報推薦	
	分析技術		テスト理論, データマイニング, ラーニングアナリティクス, ビッグデータ	
	モデリング技術		メタ認知, 学習科学, 学習者モデル, 認知ツール, 数理モデル, ドメインモデリング	
	インタフェース		VR, AR, HCI, 視線入力, HMD, ジェスチャ入力, 3D, 可視化, センサーデバイス, 音声入力, シミュレーション, マイクロワールド, 擬人化技術, アウェアネス	
その他	その他		その他	

※講演申込時に申込者には分野名のみ選択してもらいます。また、プログラム編成において分野名がセッション名となります。

教育システム情報学会 (JSiSE) 2014 年度 第 6 回研究会 プログラム

担当：西野和典，西端律子，中村勝則，鷹岡亮（研究会委員会）

【テーマ】 新たなネット時代のソーシャルメディアリテラシーと情報倫理/一般

【開催日】 2015 年 3 月 21 日(土)

【会 場】 香川大学幸町キャンパス（〒760-8521 香川県高松市幸町 1 番 1 号）

<http://www.kagawa-u.ac.jp/access/saiwai/>

【A教室】

- 10:00 開会の挨拶
- 10:10 臨床推論における問題解決能力を測るコンピュータテストの開発
○武田洋，室田真男（東京工業大学）
- 10:35 MI 理論に基づいた知性特性評価シートの開発
○藤田紀勝，深江裕忠，星野実，村上智広，松本和重，竹下浩（職業能力開発総合大学校）
- 11:00 実運用を想定したシステム開発 PBL の実践と分析
○伊藤恵，木塚あゆみ，奥野拓，大場みち子（公立はこだて未来大学），
- 11:35 初学者教育に特化したアルゴリズム評価尺度に基づくアルゴリズム的思考法教育における
補助課題生成機能の提案
○不破みのり，香山瑞恵，國宗永佳，橋本昌巳（信州大学大学院）
- 12:00 昼食（70分）
- 13:10 ビジュアルプログラミング環境を用いたプログラミング初学者対象の授業実践と評価
○山本樹（尚美学園大学），國宗永佳（信州大学），須藤智（信州大学）
- 13:35 プログラミング教育における作問活動の改善と効果
○新開純子，早勢欣和（富山高等専門学校），宮地 功（岡山理科大学）
- 14:00 Moodle のレスポンスツリーを活用したプログラミング能力育成法の提案
○下郡啓夫（函館工業高等専門学校），大場みち子，伊藤恵（公立はこだて未来大学）
- 14:25 ビジュアル情報処理教育における学習支援用語検索システムの一考察
○森真幸（大阪大学），富永哲貴，廣瀬健一（産業技術短期大学）
- 14:50 休憩（20分）
- 15:20 データリンク層での通信の同期を対象とした学習教材の設計と開発
○箕浦航，崎本貴之，香山瑞恵，不破泰，橋本昌巳（信州大学大学院）
- 15:45 ツールミンモデルによる論証構造理解が議論の質向上に及ぼす効果
○櫻井良樹，古俣升雄，比嘉邦彦（東京工業大学大学院）

16:10 四コマ漫画を題材としたオープンエンドかつインタラクティブな論理組み立て演習の実現
○川本佳代, 林雄介, 平嶋宗 (広島大学大学院工学研究科)

16:35 擬似力覚呈示の学習効果に関する検討
○柏原昭博 (電気通信大学大学院)

17:00 閉会の挨拶

【B教室】

10:00 開会の挨拶

10:10 iBeacon を用いた議題・場所情報提供による対面型協調学習の支援
○木原快, 田村恭久 (上智大学)

10:35 視線一致型テレビ会議システム (2D・3D映像を含む) による多様な遠隔交流学習について
○谷田貝雅典 (共立女子大学), 和田真澄, 片岡智史, 米谷雄介, 永岡慶三 (早稲田大学)

11:00 提示教材予測機能を備えた対話型教授システムの提案
○大河雄一, 三石大 (東北大学)

11:35 大学連携 e-Learning における負荷対策に関する一考察
○村井礼, 裏和宏, 岩城暁大, 末廣紀史, 山下俊昭, 八重樫理人, 今井慈郎, 最所圭三, 林敏浩 (香川大学)

12:00 昼食 (70分)

13:10 コミュニケーション能力育成のための CSCL を用いた授業デザインに関する研究
○大崎理乃 (鳥取大学大学院), 不破泰 (信州大学)

13:35 教職実践演習に対応した教職 e ポートフォリオシステムの開発と評価
○谷塚光典 (信州大学/熊本大学大学院), 東原義訓 (信州大学), 喜多敏博, 戸田真志, 鈴木克明 (熊本大学大学院)

14:00 電子黒板を用いた実験的授業におけるノートテイキング内容に関する分析
○佐藤弘毅 (名古屋大学)

14:25 ポートフォリオ学習スキルと学習スタイルとの関係に関する調査検討
○久保田真一郎 (宮崎大学)

14:50 休憩 (20分)

15:45 サービスラーニングによる地域特別支援学校のための工学的・教育的支援
○小田まり子 (羽衣国際大学), 小田誠雄 (福岡工業大学), 河野 央, 高橋雅仁, 佐塚秀人 (久留米工業大学)

16:10 ソーシャルメディアとクラウドサービスを活用した情報リテラシー教育の課題と展望
○河野義広 (東京情報大学)

16:35 SNS 利用学習における地域・社会連携の実践
○坂田圭司, 白澤秀剛 (東海大学情報教育センター)

17:00 閉会の挨拶

【C教室】

- 10:00 開会の挨拶
- 10:10 クイズ回答による意識変化の調査
○竹内俊彦（東京福祉大学/CRET）
- 10:35 大学生のゲームリテラシーに関する実態調査
○小孫康平（皇學館大学）
- 11:00 商品の紹介スライド作成実験による意識の変化
○宮地功（岡山理科大学）
- 11:35 Twitter 自動収集ツールでの発言の見守り
○鶴川義弘（宮城教育大学情報処理センター）
- 12:00 昼食（70分）
- 13:10 図形描画解答機能を備えたタブレット端末型 CBT システムの開発と評価
○吉原正寛，室田真男（東京工業大学大学院）
- 13:35 初等教育時における「情報モラル指導」の見直し
○富永直也（大阪大学大学院），堀川紘子（京都市立藤城小学校）”
- 14:00 情報公開のリスクとマナー教育を目的としたインターネット・リテラシー教材の試作
○徳野淳子（福井県立大学）
- 14:25 問題解決や学習に対するモバイル端末活用の意識変容のための学習プログラムの開発と実践
○鷹岡 亮（山口大学），加藤直樹（岐阜大学），上市善章（千葉県教育庁），
村松祐子，相部礼子（富士通株式会社）
- 14:50 休憩（20分）
- 15:20 世界史学習支援システム
○近藤啓史（尚美学園大学）
- 15:45 学習の広がりを目指した多角的な試行錯誤による理科実験用グループ学習プログラム
○千田 和範，野口 孝文，稲守 栄（釧路工業高等専門学校）
- 16:10 テレビ会議システムを利用したスローイング技術の遠隔指導とその効果
○米谷雄介，堂園武史（早稲田大学），谷田貝雅典（共立女子大学），永岡慶三（早稲田大学）
- 16:35 視線行動を用いた対話型学習環境における学習者習熟度 ～対話分解能～
○坪倉篤志（日本文理大学），松原伸人（株式会社 SRA），林敏浩（香川大学），
西野和典（九州工業大学）
- 17:00 閉会の挨拶

教育システム情報学会 (JSiSE) 2014 年度 特集論文研究会 プログラム

担当：小西達裕 (研究会委員会/学会誌編集委員会) 東本崇仁 (編集委員会・特集幹事)
笠井俊信 (編集委員会・特集幹事) 松浦健二 (編集委員会・特集幹事)
益川弘如 (編集委員会・特集幹事) 森本康彦 (編集委員会・特集幹事)

【テーマ】 多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境

【開催日】 2015 年 3 月 21 日 (土)

【会 場】 香川大学幸町キャンパス (〒760-8521 香川県高松市幸町 1 番 1 号)

<http://www.kagawa-u.ac.jp/access/saiwai/>

【D 教室】

- 10:30 開会の挨拶
- 10:40 土壁塗り習熟のための e ラーニング教材の開発と評価
○高井由佳, 後藤彰彦 (大阪産業大学), 佐藤ひろゆき, 濱田泰以 (京都工芸繊維大学)
- 11:20 Kinect を利用した左右反転動作で気付きを与える動作学習支援環境の構築
○廣田一樹, 曾我真人, 瀧寛和 (和歌山大学システム工学部)
- 12:00 包丁研ぎ自習支援システムの有効性の評価
○高井由佳, 後藤彰彦 (大阪産業大学), 濱田明美 (光華女子大学短期大学),
飯 聡 (京都工芸繊維大学)
- 12:40 昼食 (70 分)
- 13:50 制作課題における評価者視点の学習のための相互評価システムの研究
○坪倉篤志 (日本文理大学), 松原伸人 (株式会社 SRA), 足立元 (日本文理大学),
林敏浩 (香川大学), 西野和典 (九州工業大学)
- 14:30 主体的な行動選択のための第二領域時間管理システムの開発と強み別支援手法の提案
○河野義広, 能勢孟臣, 大部由香 (東京情報大学)
- 15:10 休憩 (20 分)
- 15:30 客観的な評価を視覚化するシステムを利用したプレゼンテーションの実践および検証
○立野貴之 (松蔭大学), 館秀典 (東京福祉大学)
- 16:10 自己評価と相互評価の差異を可視化するモバイル端末ループリックツールの開発
○高橋暁子, 金西計英, 松浦健二, 吉田博 (徳島大学), 和田卓人 (タワーズ・クエスト株式会社)
- 17:00 閉会の挨拶

【E教室】

- 10:30 開会の挨拶
- 10:40 誤りから学ぶ看護技術の学習システムの効果
○徳永基与子, 平野加代子(京都光華女子大学)
- 11:20 学内eラーニングシステムを活用した身体侵襲を伴う看護技術教育方法の検討
○平野加代子, 徳永基与子(京都光華女子大学), 真嶋由貴恵(大阪府立大学)
- 12:00 タブレット端末で動作するプログラミング演習環境の構築と運用
○長尾和彦, 山本隆弘, 林真史, 古谷勇樹(弓削商船高等専門学校)
- 12:40 昼食(70分)
- 13:50 医師が利用した場合のNetcommons導入・運用の課題と対策(第一報)
○讃岐勝, 吉本尚, 浜野淳, 横谷省治, 前野哲博(筑波大学)
- 14:30 AKaTool (Associate Kango Tool): 看護教育のための関連図作成ツールの提案
○赤津舞子, 岩田拓也, 澤野弘明(愛知工業大学), 石井成郎(愛知きわみ看護短期大学), 鈴木裕利(中部大学)
- 15:10 休憩(20分)
- 15:30 地域学習支援タブレット端末アプリ「しのスタ」の提案
○片桐雅貴, 佐竹良崇, 澤野弘明(愛知工業大学), 石井成郎(愛知きわみ看護短期大学), 鈴木裕利(中部大学), 土屋健(諏訪東京理科大学), 小柳恵一(早稲田大学)
- 16:10 知的障害児のためのタブレットを用いた注意力向上アプリの開発
○井嶋亮太, 小林加奈絵, 澤野弘明(愛知工業大学), 鈴木裕利(中部大学), 石井成郎(愛知きわみ看護短期大学), 石垣尚男(愛知工業大学)
- 17:00 閉会の挨拶

【F教室】

- 10:30 開会の挨拶
- 10:40 選択した単元・学習内容の再生を可能にする講義コンテンツ視聴システムの開発
○八重樫理人, 白神真登, 森田翼, 林敏浩, 村井礼, 裏和宏(香川大学),
上之藪和宏(青山学院大学), 三好匠(芝浦工業大学)
- 11:20 教員養成の質を向上させる情報蓄積のあり方
○沖林洋平, 田中理絵, 鷹岡亮, 岡村康永(山口大学)
- 12:00 大学学部情報基礎科目において受講者のコメントをリアルタイムに収集・共有する効果に関する分析
○佐藤弘毅(名古屋大学)
- 12:20 昼食(70分)
- 13:50 学習者特性を診断・可視化するシステムの開発と評価
○山川広人, たなかよしこ, 小松川浩(千歳科学技術大学)
- 14:30 学習行動分析による成績不振者の検出ルールの検討と評価
○長谷川理, 新村正明, 鈴木彦文(信州大学), 今井順一, 小松川浩(千歳科学技術大学),
不破泰(信州大学)
- 15:10 休憩(20分)
- 15:30 Flashの既存コンテンツ資産を継承したHTML5環境における再生方法の模索とその技術について
○廣瀬一海(アイレット株式会社クラウドパック事業部), 西端律子(畿央大学)
- 16:10 過去のPBLの開発履歴のPBL運用への活用実践
○伊藤恵, 木塚あゆみ, 奥野拓, 大場みち子(公立はこだて未来大学)
- 17:00 閉会の挨拶

教育システム情報学会 (JSiSE) 2015 年度 第 1 回研究会 講演募集

教育システム情報学会 研究会委員会

担当：仲林 清，松居辰則，北村士朗，

真嶋由貴恵，加藤泰久，櫻井良樹

■テーマ：eラーニング環境のデザインと組織マネジメント／
医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般

■開催日時：2015 年 5 月 23 日 (土)

■会場：千葉工業大学 津田沼キャンパス (総武線津田沼下車徒歩 1 分)

<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/tsudanuma.html>

<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/index.html>

※電子情報通信学会 ET 研究会と同時開催です。

■主旨：本年度第 1 回研究会は、「eラーニング環境のデザインと組織マネジメント／医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般」のテーマで実施いたします。

「eラーニング環境のデザインと組織マネジメント」に関しては、eラーニングを複合的な教育研修メディアと捉える立場から、単なる Web による教材配信にとどまらず、企業や大学における人材開発や組織マネジメントとの連携、学習コンテンツ設計、インストラクショナルデザイン、品質評価、学習者支援、ブレンデッドラーニング、インフォーマルラーニングなどの方法論、eラーニングツール、システム、実践環境に関する提案・開発・応用など幅広いトピックスに関するご発表を募集いたします。

「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」に関しては、これまで、人を対象とするこの分野には、コンピュータなどの ICT の活用はなじまないとされてきました。しかし、一方では、マルチメディアを活用した eラーニングが多くの医療系大学や病院などに導入され、ICT を活用して膨大な知識の効率的な学習、新しい知識の定着、医療・看護技術の習得などで、高い学習効果が得られたことが報告されています。

また、医療人育成のために体系化された教育プログラムにこそ eラーニングや ICT の活用が効果的である、との声も聞かれるようになってきました。そこで本研究会では、医療・看護・福祉分野において求められている高い実践能力をもつ人材の育成やナレッジマネジメント、学習者支援、学習コンテンツの設計、インストラクショナルデザイン、医療サービスの質保証ならびに質評価、eラーニング教材制作、臨床や教育機関での実践・運営環境、著作権処理に関する様々なトピックを扱い、この分野における専門職教育に必要な知識や技能を習得するための ICT 活用教育方法について、議論を進めていきたいと思っております。

その他、教育システムに関する幅広い分野からの発表も歓迎致します。初中等教育、高等教育、企業教育などの分野から、多くの方々の発表をお待ちしております。

なお、第 1 回研究会では、論文形式の原稿を伴わない発表も受け付けます。各種の実践事例やシステム・製品に関して、気軽に情報提供を行い聴衆の方と意見交換を行いたい方は、ぜひご活用下さい。

★発表にあたってはいくつか注意事項がございますので、下記をご覧ください。

■**発表申込み：※発表申込み締切：2015年3月30日(月)**

以下の事項を電子メールにてお送りください。

1. 発表タイトル
2. 発表者・所属（登壇者に○）
3. 発表概要（100字程度）
4. 連絡先住所・氏名・電子メールアドレス
5. 論文原稿の有無
6. その他（使用機器など）
7. 申込先：
東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科
櫻井 良樹 E-mail: sakurai.y.ab@m.titech.ac.jp

■**発表原稿の提出：※発表原稿提出締切：2015年4月20日(月)**

上記 5 で、「論文原稿有」を選んだ方は以下の要領で原稿を作成して下さい。

1. 原稿は A4 用紙で、2 枚以上 8 枚以下の偶数枚でお願いします。
2. 原稿は、学会 Web サイトの研究会開催案内ページの下部に掲載しております「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください。
<http://www.jsise.org/studygroupcommittee/format.html>
3. 原稿送付先：
東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科
櫻井 良樹 E-mail: sakurai.y.ab@m.titech.ac.jp
※可能な限り電子メールで送付してください。
フォント埋め込みされた PDF 形式でお願いします。
予め印刷して、文字化けがないことを確認して下さい。
4. 発表時間は 25 分（発表 20 分、質疑 5 分）を予定しております。

■**論文原稿無の方へのお願い：**

上記 5 で、「論文原稿無」を選んだ方は以下の要領で発表を準備して下さい。

- ・発表時間は 15 分（予定）です。発表、質疑、意見交換等を自由にアレンジしてください。
- ・発表時には必ず資料の配布をお願い致します。形式は任意です。
- ・配布資料は各自で準備をお願いいたします。学会では印刷を致しません。
- ・システムや製品のデモンストレーションをしていただいても構いません。
この場合も事前に担当者にご相談ください。

■**懇親会：**

研究会終了後、懇親会を開催する予定です。会費は 4～5000 円の予定です。

■**お問い合わせ先：**

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1
千葉工業大学 情報科学部 情報ネットワーク学科
仲林 清
E-mail: knaka@net.it-chiba.ac.jp

[研究会 Web サイト] <http://www.jsise.org/society/committee.html>

教育システム情報学会 (JSiSE)
「2014 年度 JSiSE 学生研究発表会」開催日のお知らせ

開催地区 開催都市	開催場所・開催日	実行委員長・連絡先
北海道 千歳市	千歳科学技術大学 (北海道支部) 3月10日 (火)	千歳科学技術大学 小松川浩 hiroshi@photon.chitose.ac.jp
北信越 越前市	仁愛大学 (北信越支部) 3月4日 (水) (予定)	仁愛大学 籠谷隆弘 kagoya@jindai.ac.jp
東海 名古屋市	愛知県立大学 名古屋駅サテライトキャンパス (東海支部) 3月4日 (水)	愛知県立大学 入部百合絵 iribe@ist.aichi-pu.ac.jp
関西 大阪市	関西学院大学 大阪梅田キャンパス (関西支部) 3月7日 (土)	甲子園大学 梶木克則 kajiki@koshien.ac.jp 備考: 研究発表とポスター発表の 両方を募集します。
中国 東広島市	広島大学 東広島キャンパス (中国支部) 2月28日 (土)	広島大学 林雄介 hayashi@lel.hiroshima-u.ac.jp
四国 高松市	香川大学 幸町キャンパス研究交流棟5階研究者協力スペース 3月4日 (水)	香川大学 林敏浩 hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp
九州 宮崎市	宮崎大学 宮崎市民プラザ (九州支部) 2月27日 (金)	宮崎大学 久保田真一郎 kubota@cs.miyazaki-u.ac.jp
沖縄 那覇市	琉球大学 総合情報処理センター2F 第3実習室 3月4日 (水)	琉球大学 谷口祐治 taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp

教育システム情報学会 2014 年度第 5 回研究会報告

■テーマ : 「新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン/一般」

■開催日時: 2015 年 1 月 10 日(土)

■会場 : 大阪産業大学(16 号館 16507 号室・16508 号室)

■担当 : 研究会委員 佐々木整、三石大、光原弘幸

■発表件数: 31 件 / 参加者数 64 名

■概要 : 2014 年度第 5 回研究会は「新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン/一般」のテーマで、1/10(土)に大阪産業大学で実施しました。予定されていた発表件数は 32 件のうち 31 件の発表があり(1 件は残念ながら不参加のためキャンセル扱い)、今回の研究会のテーマに関連の深いスマートデバイスの応用・活用に関連する発表を中心とした、様々なアイデアや取り組みの報告等の研究報告がなされました。

スマートデバイスがますます普及し、それらを活用した新しい教育や学習環境への期待が高まっている事を実感できる機会になったとともに、「スマートデバイスによるこれからの教育・学習環境」をテーマとした昨年度と同等かそれ以上の活発な議論が行われ、今後のさらなる展開が期待される分野であると確信を確かなものにいたしました。また、全国各地から非会員を含めて 64 名もの参加者があり、本学会の活動を外部に PR することもできました。

最後に、研究会会場を提供して頂きました大阪産業大学工学部の大野先生と、当日の運営を支えて頂きました常磐・大野研究室の学生の皆様にご協力いただきまして感謝申し上げます。

— 2015 年度 研究会開催予定 —

第 1 回研究会 (担当: 仲林 清, 松居辰則, 北村士郎, 真嶋由貴恵, 加藤泰久, 櫻井良樹)
◆テーマ: e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント/ 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育/一般
◆日 程: 5 月 23 日 (土)
◆場 所: 千葉工業大学
第 2 回研究会 (担当: 小松川浩, 野崎造成, 布施 泉, 不破 泰)
◆テーマ: ICT を活用した学習支援と教育の質保証/一般
◆日 程: 7 月中 (土曜日)
◆場 所: 北海道 (予定)
第 3 回研究会 (担当: 小西達裕, 林 敏浩, 安間文彦)
◆テーマ: 第二言語学習支援/一般
◆日 程: 9 月下旬
◆場 所: 静岡大学 (浜松キャンパス)
第 4 回研究会 (担当: 三石 大, 光原弘幸, 佐々木整)
◆テーマ: 新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン(予定)/一般
◆日 程: 10-12 月
◆場 所: 岩手県立大
第 5 回研究会 (担当: 曾我真人, 柏原昭博, 小尻智子, 長谷川忍)
◆テーマ: 身体知・スキル支援/一般
◆日 時: 2016 年 1 月 23 日 (土)
◆場 所: 関西大学
第 6 回研究会 (担当: 西端律子, 西野和典, 鷹岡 亮, 中村勝則)
◆テーマ: 21 世紀型能力と情報教育/一般
◆日 程: 3 月中旬
◆場 所: 関西エリアを予定
※特集論文研究会と同時開催を予定

教育システム情報学会誌

特集号論文募集

—多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境—

近年の情報処理技術の進歩により、情報端末はますます小型で扱いが容易になり、タブレットやスマートフォンにとどまらず、ウェアラブル端末の普及も間近に迫っています。一方、これらの情報端末を含む情報機器から発信される利用者の膨大な行動履歴情報は、ビッグデータとして情報処理の新たな価値を産み出しつつあり、その可能性は未だ十分に開拓しつくされたとはいえないと考えられます。

当然、教育システム技術にも、これらの情報端末やビッグデータの技術動向は、影響を及ぼしており、新たな情報端末の教育応用や、従来よりも格段に詳細な学習行動履歴情報を活用したラーニングアナリティクスと呼ばれる学習データ分析技術の研究開発が盛んになってきています。

以上のような状況を踏まえ、今回、「多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境」に関する特集号を企画いたしました。当該分野における新たな教育支援技術、ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発の論文を幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

1. 対象分野

「多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境」に関する研究論文を幅広く募集します。キーワードは、次の通りですが、これに限定されるわけではありません。また、「多様な端末」、「大規模学習データ」のいずれかに関わる学習支援環境の研究であれば、本特集号の対象となります。

モバイルラーニング、ユビキタスラーニング、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル端末、電子教科書、センサーネットワーク、IoT (Internet of Things)、学習クラウド、ソーシャルメディア、学習コミュニティ、学習ポートフォリオ、ビッグデータ、オープンデータ、ラーニングアナリティクス、など

2. 論文種別

通常と同様、すべての種別（原著論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集研究会（2015年3月21日（土）開催）で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

4. スケジュール

- 特集研究会：2015年3月21日（土）
会場：香川大学林町キャンパス（工学部）
- 投稿論文原稿〆切：2015年6月8日（月）
- 掲載予定巻号：2016年4月1日発行予定の学会誌（Vol. 33, No. 2）

5. 特集号編集委員会

委員長：仲林清（千葉工業大学）

副委員長：小西達裕（静岡大学），瀬田和久（大阪府立大学）

幹事：益川弘如（静岡大学），松浦健二（徳島大学），森本康彦（東京学芸大学）
東本崇仁（東京理科大学），笠井俊信（岡山大学）

委員：学会誌編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：

特集号編集委員会副委員長 小西達裕（静岡大学）

E-mail: konishi@inf.shizuoka.ac.jp

- Web 投稿に関する問い合わせ：

教育システム情報学会編集事務局

電話：03-5389-6492, E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

「学会誌執筆要項一部改定のお知らせ」

学会誌編集委員会

2月1日より、学会誌執筆要項を一部改訂いたします。

改定内容は、カバーレターの新設に関するものです。

投稿原稿に、論文の主旨を記載したカバーレターを添付して
いただくことで、著者と査読者の意思疎通促進を図ります。

同時に、二重投稿などに関するチェックも行っております。

改訂版の投稿規程については、以下の URL をご覧ください。

<http://www.jsise.org/journal/guideline.html>

カバーレターは、原稿テンプレートに含まれています。

<http://www.jsise.org/journal/template.html>

Call for Papers

The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 14

JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education) has published *The Journal of Information and Systems in Education* annually since 2002. The editorial committee of the journal welcomes submissions of articles for volume 13 of the journal.

Computers and network communications technology, which are the bases of information communication technology (ICT), have infiltrated various aspects of education, including styles of teaching and learning activities. Elementary, higher, enterprise, and lifelong educational institutions are incorporating various kinds of ICT equipment in synchronous and asynchronous learning. Many advanced companies have identified that “e-learning” frameworks are very important to their employees in order to acquire knowledge and skills depending their jobs. In these developing environments for e-learning, learning technology research and contribution are getting increased attention for effective and successful e-learning. Although research in this area has continued for over 50 years, it remains one of the most critical issues for learning activities today.

The Journal of Information and Systems in Education aims to spread outstanding research and practice results in the field of learning technology to professionals all over the world. To contribute the progress of learning technology research and practice, researchers and practitioners are encouraged to submit their advanced results in the topics below.

Scope:

The topics of papers include, but are not limited to:

- Learning technology systems: infrastructure, frameworks, architectures, etc.
- Methodology and pedagogy of e-learning: collective, instructional, collaborative, etc.
- Administration, maintenance, and evaluation of e-learning activities
- Core technology related to learning technology: database, artificial intelligence, etc.
- Sciences related to learning technology: cognitive science, educational psychology, etc.

Important Date:

The submission deadline: 29 May, 2015

Instructions for Authors:

Please refer to the “Authors Instruction” in the JSiSE Web site below in preparing manuscripts for submission.

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

Paper Submission:

Authors must submit their papers through the web submission system at:

https://www.wdc-jp.biz/jsise/journal_e/applicant/login.html

Publication:

Vol. 14 will be published on the J-STAGE Web site. The papers accepted in the next year (2016) will be appeared in Vol.15.

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise/>

Contact Address:

JSiSE International Journal Editorial Office

E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

一般社団法人教育システム情報学会
理事・監事・社員・支部役員選挙にかかる電子投票について

正会員各位

一般社団法人 教育システム情報学会
選挙管理委員長 対馬 勝英

表記について、2015年1月24日に開催された第4回理事会において、電子投票のみにより実施することが決まりました。有権者各位においては、以下の選挙システムにログインの上、所定の手続きに従って投票をお願いします。

投票日：2015年2月9日（月）10：00から2月26日（木）23：59まで

方 法：下記の電子投票システムによるものとする

記

■ 選挙システム

<https://www.bunken.org/jsise/vote2015/login/login>

Webブラウザで上記にアクセスし、認証の上、投票ください。

なお、被選挙権所有者名簿及び候補者一覧は、選挙システム内で閲覧可能です。

一般社団法人教育システム情報学会 WEB選挙

ログイン

WEB選挙投票画面には、会員番号、名簿システムで設定したパスワードを入力し、ログインします。

会員番号	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
	<input type="button" value="ログイン"/>

お問い合わせは事務局までご連絡ください：secretariat@jsise.orgへ。

Copyright (C) 2015 Japanese Society for Information and Systems in Education All Rights Reserved.

注：会員IDとパスワードは先日ご依頼した会員登録の際のものを使ってください。

不明な点がある場合には、学会事務局(e-mail：secretariat@jsise.org)にお問い合わせください。

学会誌・研究報告バックナンバーのお求めは

学会誌・研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、（株）毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2階
TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555
Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

- JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。
- 年間購読料 4,000 円/年 6 回発行<送料込>

新 入 会 員 募 集

一般社団法人教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的開催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌、研究報告書(年間購読お申し込みの方)などがお手元に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申し込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会 Web ページ (<http://www.jsise.org/>) に掲載しておりますので (PDF ファイル) ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAX か、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金無料・その場で、学会誌最新刊を進呈させて頂くというキャンペーン**を行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

■学会事務局宛■

〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光 3 丁目 3-25-101 号
一般社団法人教育システム情報学会 事務局宛
TEL/FAX 06-6324-7767 Email : secretariat@jsise.org

事務局より

★☆☆年会費請求書発送について☆☆★

2014年度の年会費の納付期限は、2014年9月末日となっておりますので、ご入金が未だの会員様は至急ご納付くださいますようお願いいたします。

また、年会費未納の会員様につきましては、2013年度以前の未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、定款の定めにより除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願い致します。ご不明な点がございましたら、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

JSiSE 事務局 E-mail : secretariat@jsise.org

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、変更届を事務局までご提出ください。ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

◎ 年会費のご案内 ◎

<p>■正会員 : 7,000 円</p> <p>■学生会員 : 4,000 円</p> <p>■賛助会員 : 50,000 円</p>	<p>■入会金 : 1,000 円 (正会員・初年度のみ)</p> <p>■研究報告年間購読 : 4,000 円 (購読希望者のみ)</p>
--	--

◎ 口座 ◎ 2014年5月1日より

<p>ゆうちょ銀行 (口座名義人のみ変更)</p> <p>※ゆうちょ間</p> <p>口座番号 00180-6-709632</p> <p>口座名義人 一般社団法人教育システム情報学会</p> <p>フリガナ シヤキョウイクシステムジヨウホクガツカイ</p> <p>※他銀行より</p> <p>支店名 ○一九九店 (ゼロイチキユウ)</p> <p>当座預金 0709632</p> <p>口座名義人 一般社団法人教育システム情報学会</p> <p>フリガナ シヤキョウイクシステムジヨウホクガツカイ</p>	<p>三菱東京 UFJ 銀行 (新口座)</p> <p>支店名 上新庄支店 (カミシンジョウ)</p> <p>普通預金 0142708</p> <p>口座名義人 一般社団法人教育システム情報学会</p> <p>フリガナ シヤキョウイクシステムジヨウホクガツカイ</p> <hr/> <p>みずほ銀行 (新口座)</p> <p>支店名 茨木支店 (イバラキ)</p> <p>普通預金 1399483</p> <p>口座名義人 一般社団法人教育システム情報学会</p> <p>フリガナ シヤキョウイクシステムジヨウホクガツカイ</p>
--	---

★☆☆振替口座変更のお知らせ☆☆★

一般社団法人への移行に伴い、平成 26 年 5 月 1 日より本学会取引口座が、上記の通り変更になりましたので、お間違いございませんようお願いいたします。



下記の皆様が新しくご入会されました。 2014/12~2015/1

名前	所属機関	会員種別
李 哲	金沢学院大学	学生会員
小暮 悟	静岡大学大学院	正会員
		学生会員
		1
		1

会員情報管理システムに関する重要なお知らせ

教育システム情報学会 会員の皆様へ

平素より 本学会にご協力・ご支援賜り 誠にありがとうございます。

早速ではございますが、2015年4月より、会員様の登録情報管理がWeb上にて会員様ご自身で、ご確認・修正できるサービスを開始する事となりました。

これに伴い、1月の初めから、Webによる名簿の確認をお願いいたしました。この名簿は、現在実施中のWeb選挙で使用しており、会員情報、支部情報を確定するために、会員情報の更新は1月末で一旦終了しております。会員情報の更新は、4月以降、会員情報管理システムが稼働するまでお待ちください。

なお、4月のサービス開始以降のログインの際には、1月中にご登録いただいたパスワード（未ログインの方はその時に配布した初期設定パスワード）・会員番号が必要となりますので、紛失されませんようお願いいたします。ご登録内容にご変更等がある場合は、4月以降ご自身によりログイン頂き、お手続きくださいますようお願いいたします。急を要する項目（メールアドレス・発送先等）の変更は随時承りますので、所定の「変更届」にて事務局までお届けください。

本システムに関しましては、株式会社国際文献社へ業務委託することが理事会で承認されました。業務委託に際し、守秘義務契約「個人情報の取り扱いに関する覚書」を取り交わし終結しております事をご報告申し上げます。

また、2015年度（2015年4月～2016年3月）の、年会費の請求に関しまして、本来ですと2月には行う事となっておりますが、本システムの開始に伴い、請求は4月以降となりますのでご不便をおかけいたしますが、どうかご了承願います。Web化後は、Web上で請求書の発行・オンライン決済等、会員様のニーズにお応えできるような方法となります。

校費払い等ご事情のある場合は、別途対応させていただきますので、事務局までメールにてご連絡ください。

今後ともご協力・ご支援賜りますよう どうぞよろしくお願い申し上げます。

2015年2月

一般社団法人 教育システム情報学会
事務局長 家本 修
事務局 e-mail : secretariat@jsise.org